

介護過程

問題 61 介護過程の展開に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 介護計画を立ててから、利用者にどのような生活を送りたいのかを聞く。
- 2 介護職は利用者の健康状態を把握しなくてよい。
- 3 利用者の「やりたいこと」や「できること」を含めて、アセスメント(assessment)する。
- 4 他の利用者とのトラブルが予測される場合には、利用者本人の「やりたいこと」は支援内容から外す。
- 5 利用者が満足していれば、計画の評価は行わなくてよい。

問題 62 食事の摂取量が急に減少した利用者のアセスメント(assessment)に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 栄養状態が悪くなるので、食事を残さず食べることが必要である。
- 2 食べないと免疫力が低下する恐れがあることを、説明する必要がある。
- 3 経管栄養を行うことを、医療者と検討する必要がある。
- 4 最近の言動の変化について、観察する必要がある。
- 5 自然に摂取量が増えるのを見守る必要がある。

問題 63 夜間はおむつに排泄していた利用者が、ポータブルトイレで排泄することを目指して、介護計画を立案した。介護目標の記述として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 夜間はポータブルトイレで排泄できる。
- 2 夜間はポータブルトイレで排泄するように、理解させる。
- 3 夜間はポータブルトイレをベッドサイドに置く。
- 4 夜間はポータブルトイレでの排泄の介護をする。
- 5 夜間はおむつで排泄させない。

問題 64 モニタリング(monitoring)の内容として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 計画どおりに実施できているかどうかを点検する。
- 2 利用者が主体的に取り組める目標を設定する。
- 3 実施する介護について、利用者や家族に説明する。
- 4 利用者の「できること」の情報を収集する。
- 5 目標が達成された後に、介護過程を終結させる。

問題 65 評価に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 利用者本人には、評価を伝えない。
- 2 利用者の反応の評価はしない。
- 3 計画を立てたが実施しなかったものは、評価はしない。
- 4 目標が達成されれば、評価はしない。
- 5 他の利用者の目標達成度と比較した評価はしない。

問題 66 Nさん(80歳、男性)は、3か月前に肺炎(pneumonia)で2週間入院をし、
杖歩行^{つえはこう}となった。Nさんは、自宅で一人暮らしをしているが、週2回の訪問介護
(ホームヘルプサービス)を受けることになった。訪問介護員(ホームヘルパー)が訪
問すると、部屋の中は衣服やごみなどが散乱しているが、「面倒だ」と言って片づけ
ようとしない。

Nさんの自宅のようすを観察したときの、客観的情報の記録として、最も適切な
ものを1つ選びなさい。

- 1 部屋は衣服やごみが散乱していて汚い。
- 2 部屋は衣服やごみが散乱しているが、片づけようとしない。
- 3 部屋は衣服やごみが散乱していて、転倒の可能性がある。
- 4 片づけることが嫌いなので、部屋は衣服やごみが散乱している。
- 5 部屋は衣服やごみが散乱していて、生活しづらそうである。

問題 67 Sさん(87歳、男性)は、介護老人福祉施設に入所している。下肢筋力の
低下によって、歩行時につまずいたり、ふらついたりするようすが見られる。Sさ
んは「できるだけ歩いて生活し続けたい」と望んでいて、この希望に基づいて長期目
標が設定された。また、短期目標は「転倒しない」と設定された。

この長期目標・短期目標に応じた支援内容・方法として、最も適切なものを1つ
選びなさい。

- 1 居室の床にセンサーマットを敷く。
- 2 戦員と施設内を散歩する。
- 3 車いすを使用する。
- 4 歩行時にはスリッパを履く。
- 5 日中は居室で過ごす。

問題 68 チームアプローチ(team approach)に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 他のチームメンバーの役割は、知らなくてよい。
- 2 医療職は、チームアプローチ(team approach)を主導する。
- 3 チームメンバーの人数は、決まっている。
- 4 利用者は、チームアプローチ(team approach)の中心である。
- 5 ボランティアは、チームメンバーにはなれない。